



令和3年度
入省

若手医系技官からの メッセージ

様々な思いをもって歩み始めた
医系技官からあなたへ

多方面から医療・保健に 関わることができます

大臣官房国際課長補佐

中村 早希 NAKAMURA Saki

学部卒業年 — 平成27年

臨床研修後の経験 — 臨床(一般小児科、新生児科)



専門医研修終了後に入省しました。採用面接で志望し、国際保健に関する業務を行っています。時差との戦いですが、頼りになる上司と理解のある仲間に囲まれ、楽しく過ごしています。国内及び国外、あらゆる視点から人々の健康に向き合えることも魅力の一つです。

行政でしかできないこと

医政局地域医療計画課主査

谷口 大樹 TANIGUCHI Taiki

学部卒業年 — 平成31年



臨床の現場を離れることは大きな決断かもしれませんが、行政でしかできないこともたくさんあります。私は医療計画や地域医療構想に携わっており、一年目から様々な経験をさせていただいています。少しでも興味のある方は、まずは気軽に見学に来てみてください。

国民のいのちと健康を守る

医政局地域医療計画課在宅医療推進室長補佐

中西 浩之 NAKANISHI Hiroyuki

学部卒業年 — 平成18年

臨床研修後の経験 — 臨床(内科系)、公衆衛生学



入省後は、主に入院外の医療提供体制の制度作りに携わっております。日本の将来像を踏まえながら、必要な方に必要な医療を提供できる仕組みが重要となります。医学を学び、実践してきた経験から、現場の医療専門職や国民の目線に立った取り組みを意識しております。

医系技官として

医政局歯科保健課主査

宍戸 勇介 SHISHIDO Yusuke

学部卒業年 — 令和2年



私は臨床研修終了後に入省しました。医系技官として、法令系の事務官の方など様々なバックグラウンドを持つ方々と一緒に、臨床とは違う視点でアプローチしていくことはやりがいのある仕事です。医系技官という仕事に興味があれば、ぜひ見学にいらしてください。